

あかね会創立 50 周年記念

あかね

半世紀の歩みを振り返り、新たな一歩を！

第 58 号
2014

第 1 部 あかね会創立 50 周年記念

第 2 部 あかね 第 58 号

昭和大学附属烏山病院
患者家族会（あかね会）

あかね会創立50周年記念

あかね第58号



あかね草



年	あかね会、ちぐさ会、病院	つくし会、みんなねっと、その他
昭和53年	・ちぐさ会（病院社会復帰後援会）発足。	・都連高山会長辞任。後任は森崎重夫氏。
昭和55年	・ちぐさ会会長役を竹村院長から高山会長に移す。	・都連森崎会長辞任。後任は村田新平氏。
昭和56年	・烏山病院30周年記念式。 ・あかね会活動のあゆみ「例会200回記念誌」発行。	・他の共同作業所助成制度始まる（7カ所1,800万円）。 ・都精作連発足（作業所連絡会）。
昭和58年	・あかね会20周年のつどい。 ・東京兄弟姉妹の人たち（代々木病院）との交流会。	・都連総会33単会（病院7、地域26）。 ・共同作業所12カ所から21カ所に増える。
昭和59年	・施設見学会：あさやけ作業所。 ・共同作業所づくりにつき、病院側とあかね会幹事の話し合い。	・宇都宮病院事件報道あり。
昭和60年	・ちぐさ作業所開所式（5月）。7月から作業開始。	・都「世田谷リハビリセンター」は「中部総合精神衛生センター」と改称。
昭和61年		・全家連20周年東京大会。
昭和62年		・都連、創立20周年記念の会。 ・精神衛生法から精神保険法に改正。
昭和63年	・竹村院長退任。昭和大教授に。後任は奥山清一院長。	・都連の名称「守る会」から家族会連合会に改称。
平成元年	・あかね会例会。300回記念誌発行。	・都連法人化問題検討始める。
平成2年	・ちぐさ指導員「故・山本孝子さんを偲ぶ会」行う。	
平成3年	・施設見学・千葉東金市浅井病院（老健センター他）。 ・烏山病院創立40周年記念会。	・都連事務所移転（台東区内）。川村ビルから恵友記念館へ。 ・都、地精審答申出る。
平成4年	・施設見学：全家連センター、東京都庁。	・都連、高山会長再選。 ・全家連東京大会。初の街頭行進実施。 ・都、グループホーム制度発足。 ・都精民協（精神保健福祉民間団体協議会）結成。 ・サンクス発足。
平成5年	・施設見学：東京武蔵野病院、町田ひあたり野津田、多摩総合精神保健福祉センター。 ・あかね会創立30周年記念の集い。	・障害者基本法成立。 ・全家連、北原ミレイチャリティーコンサート。 ・都連、SST教本と「保護・扶養調査」発刊。
平成6年	・千草工藝（第2作業所）開所。 ・「ちぐさ作業所」を「ちぐさ企画」と改称。 ・施設見学：「あさやけ第2作業所」「はらからの家」。	・保健所法が地域保健法に改正。 ・全家連、任意後見制度準備会発足。 ・都連「道しるべ」A4版で発刊。 ・国連で「障害者権利条約」採択。

家族会活動をめぐるうごき <昭和38年～平成25年>

年	あかね会、ちぐさ会、病院	つくし会、みんなねっと、その他
昭和38年	・11月、男子、社会復帰あかね病棟家族13名で集会。竹村堅次先生より講義。家族会の意義と精神病の治療について。定例日を決める。	
昭和39年	・石川正雄氏が竹村先生の紹介で家族会に加入。全国組織の東京部会長に推薦。 ・「あかね」会誌創刊号発行。 ・石川氏胃ガンのため死去。未亡人あき氏があかね会事務局担当となる。	・ライシャワー米大使刺傷事件。 ・石川氏ら精神衛生法改正を願って厚生省に陳情。 ・石川氏精神神経学会で指定発言。全家連結の基となる。
昭和40年	・あかね会、初総会。会長：高山秋雄、副会長・田島志づ	・精神衛生法改正・全家連結成大会。会長・滝山米太郎（友部）、副会長・山川嘉一（松沢）、高山秋雄（烏山）、水上嘉市郎（京都）
昭和43年	・病院運動会にあかね会はプラカード行進で参加。	・都連（東京つくし会）結成大会。会長・山川嘉一（松沢）、副会長・高山秋雄（烏山）、園田よし <病院6 地域4 計10家族会>
昭和45年	・烏山病院内紛争おこる（昭和54年まで）。院内紛争の解決を願うあかね会声明文（3回）。	・都心身障害者扶養年金制度に精神も含まれる。 ・都職親制度始まる。 ・第3回都連総会に美濃部都知事出席。 ・山川会長死去。
昭和46年	・院内紛争の件、あかね会が日弁連訪問。 ・西尾友三郎院長退任。後任は竹村堅次院長。	・第4回総会で高山会長就任。 ・都小児精神病医療費公費負担実現。 ・NHKテレビ番組「こんにちは奥さん」の「精神障害者家族の訴え」に家族4名出席。
昭和47年	・あかね会例会100回記念講演会「社会復帰における家族の治療的役割」竹村院長。	・都連「ひなまつりのつどい」第1回。 ・都連総会後に街頭行進実施。 ・都連「道しるべ」創刊。 ・世田谷リハビリセンター開設
昭和48年	・烏山病院に高等看護学校設置。 ・あかね会バスハイク開始（あしが久保）	・都衛生局委託事業開始。都連への助成40万円。
昭和50年	・病院の総合受付制開始。 ・第1回あかね会バザー。 ・烏山ハイツ開設。	・都連つくしまつり。 ・全家連京都大会、組織内混乱。
昭和51年	・あかね会誌休刊（昨年も）	・精神医療をめぐるルポ映画づくり。円城寺プロダクションとの協力。
昭和52年	・あかね会相談窓口の充実（金曜のみを6日制に）。	・都連社会復帰関連施設。建設運動の試み。